

2023年2月25日（土）令和4年度独立行政法人日本学生支援機構日本語教育センター
日本語教育機関教員と高等教育機関留学生教育担当者との研究協議会
「日本語学習者の自学習の方法から考えるこれからの日本語学習～日本語教師にできること～」

日本語学習における自学習の 位置づけと方向を探る —Kyoto iUPの経験から—

京都大学国際高等教育院 附属日本語・日本文化教育センター
河合 淳子
(かわい じゅんこ)
kawai.junko.5r@Kyoto-u.ac.jp

目次

- ▶ はじめに
- ▶ 1. 日本語「自学習」の現状
 - 1-0 事例の概要—Kyoto iUPについて
 - 1-1 自学習の必要性
 - 1-2 自学習の方法 **学生**によるデモンストレーション
 - 1-3 自学習支援 **教授者・支援提供者**の取り組み
 - (1) ツールの整備
 - (2) 自学習内容の整備
 - (3) 自学習方法の提示
- ▶ 2. 課題と展望
 - 2-1 出席者の皆様の質問から
 - 2-2 留学生の学習環境整備における日本語教師の位置

はじめに 本発表の目的

日本語学習における自学習の(a) 必要性、(b)方法、(c)課題について、事例を用いて考察、検討すること。

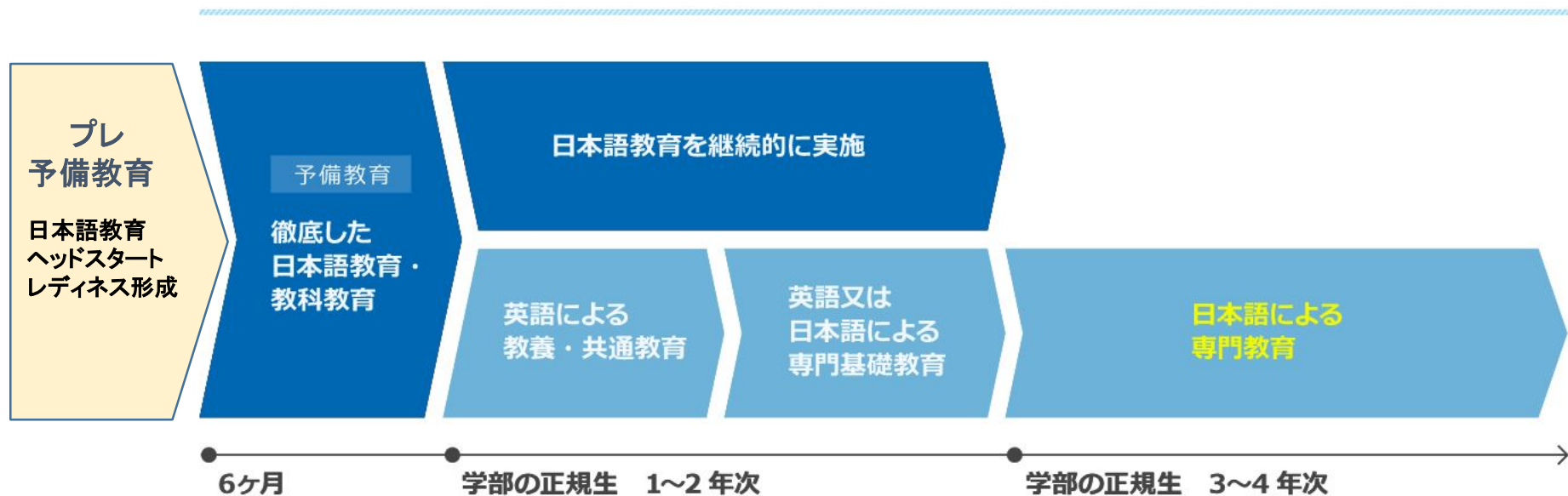
自学習：学生が授業および宿題以外の日本語学習を教師なしで
自分で行うこと

事例：Kyoto University International Undergraduate Program
(Kyoto iUP)・・・京都大学の「4.5+ α 」年の学部留学プログラム
(プレ予備教育(α) + 予備教育(0.5年) + 学士課程(4年))

目次

- ▶ はじめに
- ▶ 1. 日本語「自学習」の現状
 - 1-0 事例の概要—Kyoto iUPについて
 - 1-1 自学習の必要性
 - 1-2 自学習の方法 学生によるデモンストレーション
 - 1-3 自学習支援 教授者・支援提供者の取り組み
 - (1) ツールの整備
 - (2) 自学習内容の整備
 - (3) 自学習方法の提示
- ▶ 2. 課題と展望
 - 2-1 出席者の皆様の質問から
 - 2-2 留学生の学習環境整備における日本語教師の位置

1-0. 事例の概要—Kyoto iUPについて



- ・応募時の日本語能力を問わない。
- ・学業成績、学力試験、英語能力、エッセイ、面接等による選抜

1-0 事例の概要—Kyoto iUPについて

	現学年	出身国	学部・専攻	来日時レベル	現レベル
A:	4回生	インドネシア	工学部・工業化学	初級II	上級
B:	3回生	ベトナム	工学部・電気電子	中級I	上級
C:	3回生	香港	工学部・情報	中級I	上級
D:	2回生	フィリピン	工学部・工業化学	初級II	上級
E:	2回生	ミャンマー	教育	中級I	上級
F:	2回生	タイ	理学部・化学	中級I	上級
G:	1回生	モンゴル	法学	中級II	上級
H:	1回生	韓国	工学部・情報	中級I	上級前半
J:	1回生	カンボジア	工学部・電気電子	初級II	中級II
K:	予備教育	アメリカ	経済	上級	上級
L:	予備教育	中国	農学部	中級II	中級II
M:	予備教育	ベトナム	教育	初級II	初級II

....

現在、計75名 多様な学部で学んでいる。

1-0. 事例の概要—Kyoto iUPについて 各レベル到達目標

日本語科目 各レベル履修後の到達目標 (全学共通科目・日本語科目共通の基準)

熟達レベル	上級	専門の学習・研究に役立つ日本語応用力を向上させる。不自由なく大学の講義が理解でき、学術的な文章の読み書きや議論ができる。文法的な誤りが少なく、場面に応じた言い回しやことばの使い分けができる。違和感を与えることなく自然なやり取りができる。	JLPT N 1 CEFR C 1 ~ C 2
	中級 II	より幅広い場面で、自然に近いスピードの日本語の聞き取りができる。ある程度まとまりのある学術的な文章が理解できる。状況や場面の目的に応じた効果的な会話ができ、的確な説得力のある文章を作ることができる。	JLPT N 2 CEFR B 2
自立レベル	中級 I	初級で学んだ語彙・文型を自由に使いこなし、ある程度まとまった内容の理解・発言ができる。一般的な話題について、正確に理解でき、根拠を示しながら意見を述べ、自身の経験や希望などを説明できる。	JLPT N 3 CEFR B 1
	初級 II	基礎語彙を増やし、初級の文型の習得を終える。日常生活に役立つ、簡単な文の読み書きや会話ができる。身近な話題について、平易なことばで情報交換や説明ができる。	JLPT N 4 CEFR A 2
基礎レベル	初級 I	基礎語彙と初級の基本文型の前半を習得する。身近な話題について、平易な文が理解できる。相手がゆっくり話してくれれば、質問に答えたり、意思表示をしたりして簡単なやり取りができる。	JLPT N 5 CEFR A 1

【参考】

日本語能力試験旧基準※との対応表

日本語を900時間程度
学習したレベル

日本語を600時間程度学習し、
中級日本語コースを修了したレベル

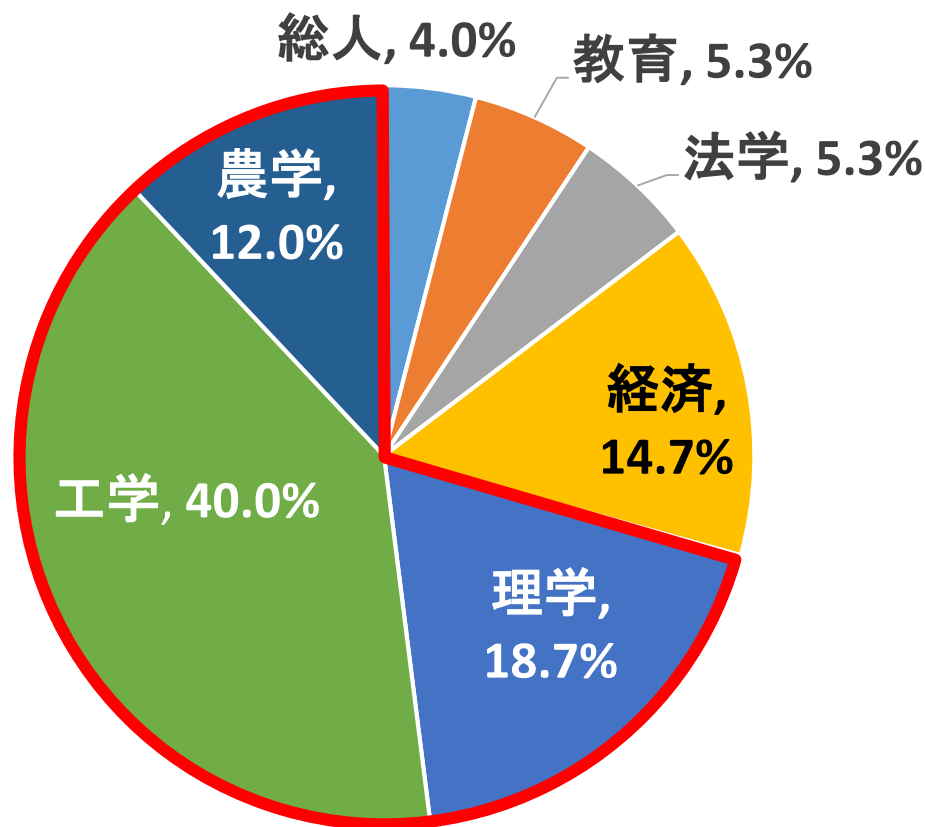
日本語を300時間程度学習し、
初級日本語コースを修了したレベル

日本語を150時間程度学習し、
初級日本語コース前半を修了したレベル

※日本語能力試験旧基準の学習時間の目安を記載した。
現行の日本語能力試験（N5～N1）には学習時間の基準は設定されていない。

1-0 事例の概要—Kyoto iUPについて

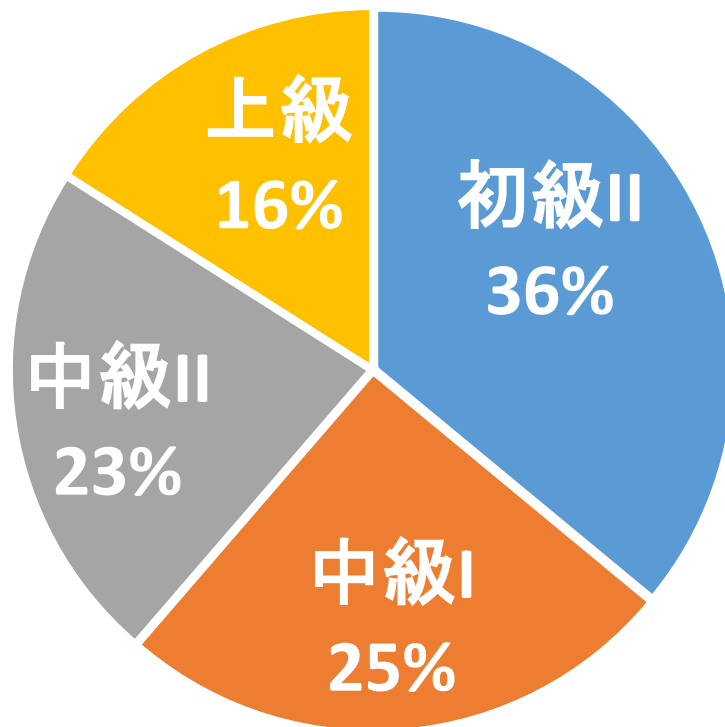
多様な専門(進学先)



現在75名
文系:理系
3:7

1-0. 事例の概要—Kyoto iUPについて

多様な日本語レベル
(予備教育開始時)



初級II
中級I
中級II
上級

1-0. 事例の概要—Kyoto iUPについて

コースツリー

**吉田カレッジ (Kyoto iUP) 学生
日本語科目コース・ツリー**
予備教育, 1, 2回生コマ構成
春期、夏期講習挿入版
(2021年9月2日)

二回生後期

最大5コマ

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(レポ・ト作成基礎)専	上級(文献講読)専

夏期講習上級 専門V N/L

最大5コマ

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(レポ・ト作成基礎)専	上級(文献講読)専

- ・上級を2期あるいは3期受講を要請 (専門講義受講に十分と判断できたとところで終了)
- ・「専」はiUP専用品目
- ・枠の大きさはコマ数に比例
- ・定期講義の到達目標は別紙のとおり
- ・初級、中級I、IIの春期、夏期講習は、次期に上のクラス受講レベルに到達することが最低限の目標

二回生前期

最大5コマ(一部中級II可)

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(レポ・ト作成基礎)専	上級(文献講読)専

春期講習中級II 専門II N/L

最大5コマ

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(レポ・ト作成基礎)専	上級(文献講読)専

春期講習上級 専門III N/ II L

最大5コマ

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(レポ・ト作成基礎)専	上級(文献講読)専

専門日本語(白枠:到達目標は別紙)
・上級(文献講読)は、前後期各3クラス (自然、社会、人文)開講
・期間外講習
専門I、II、III:春期専門日本語
専門IV、V:夏期専門日本語
それぞれ、理系(N)と文系(L)に分けて実施

一回生後期

中級II (6H) 専

中級II(会話)	中級II(読解)
中級II(聴解)	中級II(作文)
中級I(漢字)	2コマ選択(一部中級I可)

夏期講習中級I 専門IV N/L

最大5コマ

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(レポ・ト作成基礎)専	上級(文献講読)専

最大5コマ

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(レポ・ト作成基礎)専	上級(文献講読)専

最大5コマ

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(レポ・ト作成基礎)専	上級(文献講読)専

一回生前期

中級I (6H) 専

中級I(会話)	中級I(読解)
中級I(聴解)	中級I(作文)
中級I(漢字)	2コマ選択(一部初級II可)

春期講習初級II 専門I N/L

中級II (6H) 専

中級II(会話)	中級II(読解)
中級II(聴解)	中級II(作文)
中級I(漢字)	2コマ選択(一部中級I可)

夏期講習中級II 専門IV N/L

最大5コマ

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(レポ・ト作成基礎)専	上級(文献講読)専

最大5コマ

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(レポ・ト作成基礎)専	上級(文献講読)専

予備教育課程

初級I/初級II (8H)

初級II(文法) 専	
初級I(文法) 専	初級II(聴解)
初級II(会話)	初級II(漢字)

中級I (8H)

中級I(文法・作文) 専	
中級I(読解) 専	
中級I(会話)	中級I(読解)
中級I(聴解)	中級I(作文)
中級I(漢字)	4コマ選択

中級II (8H)

中級II(文法・作文) 専	
中級II(読解) 専	
中級II(会話)	中級II(読解)
中級II(聴解)	中級II(作文)
中級I(漢字)	4コマ選択

春期講習上級 専門I N/L

上級(論文・レポ・ト作成)	上級(講義聴解)
上級(聴解)	上級(討論技術)
上級(研究発表)	上級(読解)
上級(会話)	上級(作文)
上級(文型) 専	

1-1. 自学習の必要性

Kyoto-iUPの特徴

- 4.5年+ α の「Pre予備教育+予備教育+学士課程」プログラム
- 申請時は日本語能力を問わない。実際は多様な日本語レベルで開始。
- 多様な学部・専門分野に進学
- 日本語教育の目標

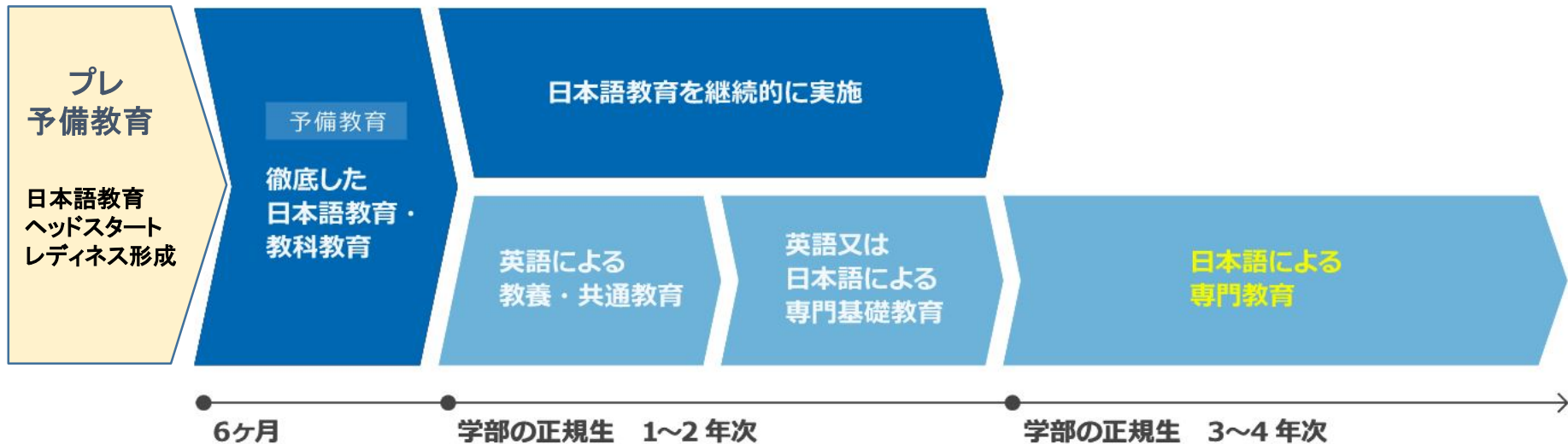
2回生終了時に日本語での専門講義が受講可能な日本語能力を身につけること。

現状: 専門によっては、早い時期に日本語での講義受講が必要なケース有。

- 特に前半の2.5年+ α で日本語能力の向上が求められる。



- * 学生個々に状況が異なるため、各段階での自学習の必要性が高い。
- * 専門分野に沿った自学習内容・方法開拓の必要性も高い。



プレ予備教育
 ■現地日本語
 教育機関 +α
 ↓
 オンライン学習
 (さみどり等)
 ひらがな
 かたかな
 上級者読解

予備教育
 ■日本語科目
 10コマ
 ■理系基礎科目
 (数学、物理、化学)
 9コマ
 ■文系(学部による)
 世界史 2コマ
 ↓
 授業が多いため、
 自学習の余地はほぼ
 無いが、要習慣づ
 け。

1年次
 ■日本語科目
 2コマ~5コマ
 ■教養・共通教育、
 専門基礎を主に
 英語で、一部
 日本語で学ぶ。
 ↓
 自学習の必要性
 が高い。

2年次
 ■日本語科目
 2コマ~5コマ
 ■教養・共通教育、
 専門基礎に日本語
 で学ぶクラスが
 増える。
 ↓
 自学習の必要性
 が益々高まる。
 専門分野に密着
 した日本語学習

**3、4年次
 以降**
 専門教育
 に集中
 ↓
 自学習を
 継続。

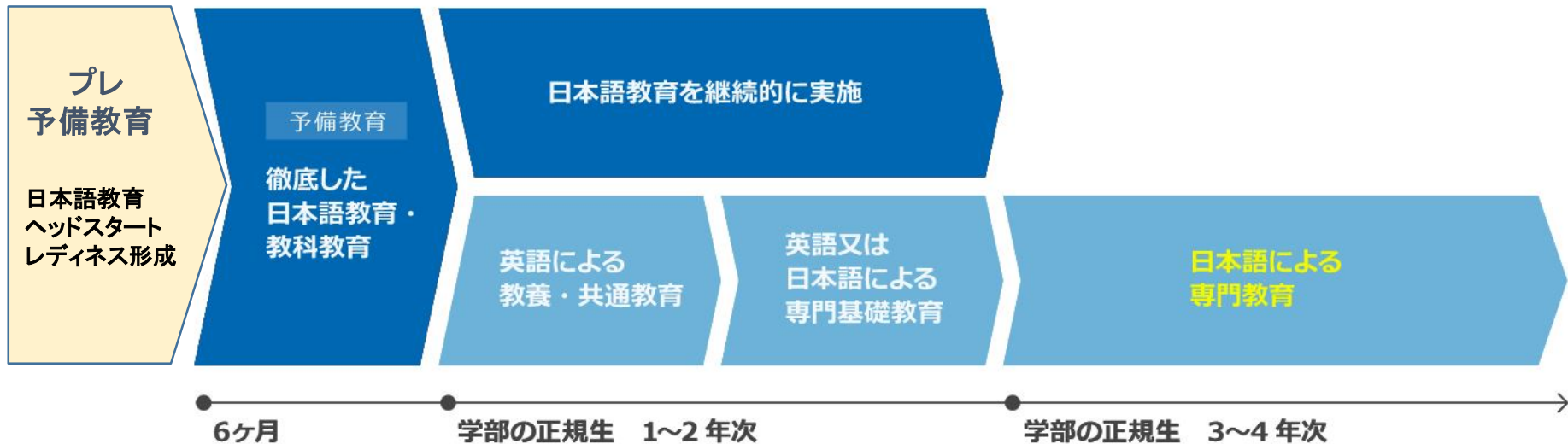
プレ予備教育 (自学習的要素を青字に)

- ・ 来日前の2～3か月

ひらがな・カタカナは各自オンラインで学習

初級、中級レベルは現地日本語教育機関で学習

上級は、さみどり等の読解教材の学習



プレ予備教育

■現地日本語
教育機関 +α



オンライン学習
(さみどり等)

ひらがな
かたかな
上級者読解

予備教育

■日本語科目
10コマ
■理系基礎科目
(数学、物理、化学)
9コマ
■文系(学部による)
世界史 2コマ



授業が多いため、
自学習の余地はほぼ
無いが、要習慣づけ。

1年次

■日本語科目
2コマ~5コマ
■教養・共通教
育、専門基礎を主
に英語で、一部
日本語で学ぶ。



自学習の必要性
が高い。

2年次

■日本語科目
2コマ~5コマ
■教養・共通教育、
専門基礎に日本語
で学ぶクラスが
増える。



自学習の必要性
が益々高まる。
専門分野に密着
した日本語学習

3、4年次

以降
専門教育
に集中



自学習を
継続。

予備教育期間

■ Foundation subjects
 ■ iUP exclusive Japanese Language classes
 ■ ILAS Japanese Language classes

	1 (8:45~10:15)	2 (10:30~12:00)	3 (13:15~14:45)	4 (15:00~16:30)	5 (16:45~18:15)
Mon.	Supplementary class for Math/Physics/Chemi	Advanced Physics ----- Supplementary class for Math/Physics/Chemi	Elementary Japanese II (Grammar)		
Tue.	Chemistry	Physics	Elementary Japanese II 8H (Sentence patterns & exercises • Conversation practice)	Elementary Japanese II 8H (Sentence patterns & exercises • Conversation practice)	
Wed.	Chemistry	Physics	Elementary Japanese II (Listening)	Elementary Japanese II (Conversation)	Elementary Japanese II (Composition)
Thu.	Mathematics	Mathematics	Elementary Japanese II 8H (Sentence patterns & exercises • Pair/Group work)	Elementary Japanese II 8H (Sentence patterns & exercises • Pair/Group work)	iUP Home Room
Fri.		Advanced Mathematics ----- Supplementary class for Math/Physics/Chemi	Elementary Japanese II & Intermediate Japanese I (Vocabulary & Reading)		Elementary Japanese I & II (Kanji)

予備教育期間 (自学習的要素を青字に)

- ・入学前の6カ月

主として日本語クラスでの日本語学習(週10コマ)

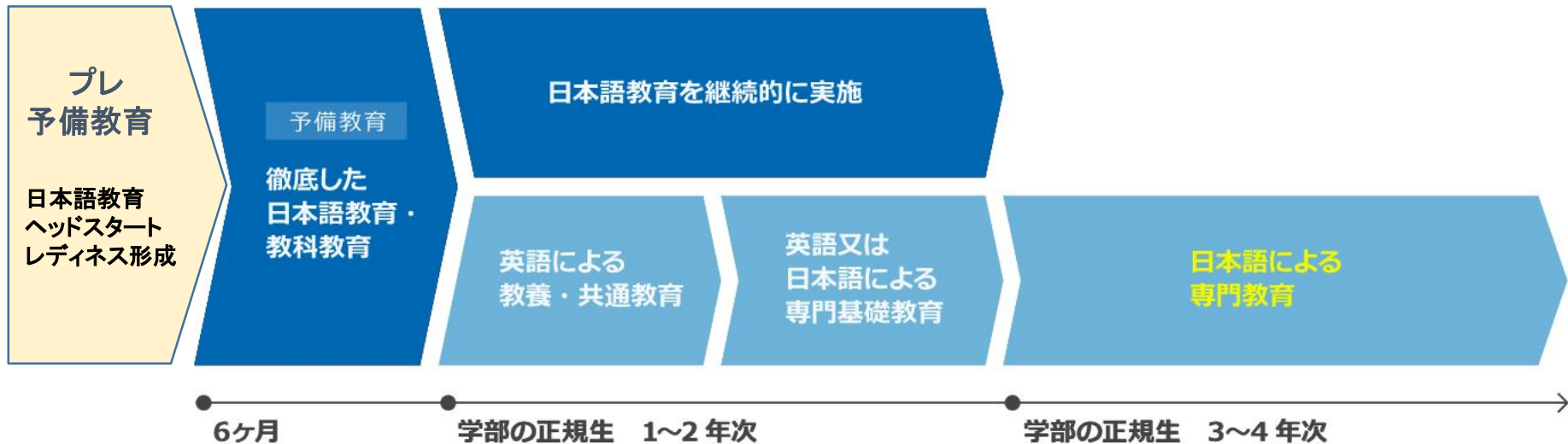
10コマ内訳: 全学共通科目の日本語クラス7~8コマ

iUP専用クラス2~3コマ※

※iUP専用クラスの一つ「語彙・読解クラス」で
専門語彙の自学習方法の習得(後述)

理系学生は理系基礎科目(週6~8コマ)

文系学生は世界史、政治・経済などの科目



プレ予備教育

■現地日本語
教育機関 +α



オンライン学習
(さみどり等)

ひらがな
かたかな
上級者読解

予備教育

■日本語科目
10コマ
■理系基礎科目
(数学、物理、化学)
9コマ
■文系(学部による)
世界史 2コマ



授業が多いため、
自学習の余地はほぼ
無いが、要習慣づけ。

1年次

■日本語科目
2コマ~5コマ
■教養・共通教育、
専門基礎を主に
英語で、一部
日本語で学ぶ。



自学習の必要性
が高い。

2年次

■日本語科目
2コマ~5コマ
■教養・共通教
育、専門基礎に日
本語で学ぶクラス
が増える。



自学習の必要性
が益々高まる。
専門分野に密着
した日本語学習

3、4年次

以降
専門教育
に集中



自学習を
継続。

1回生 理系(工)

■ Liberal Arts and Sciences courses
 ■ Japanese Language courses
 ■ Specialized courses

	1 (8:45-10:15)	2 (10:30-12:00)	3 (13:15-14:45)	4 (15:00-16:30)	5 (16:45-18:15)
Mon.			Linear Algebra with Exercises A	Advanced Japanese (Conversation)	
Tue.		Linear Algebra with Exercises A	Mathematical Description of Natural Phenomena	Practice of Basic Informatics	ILAS Seminar-E2 :Nanostructured Materials
Wed.		Calculus with Exercises A	Fundamental Chemical Experiments-E2	Fundamental Chemical Experiments-E2	
Thu.	Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2	Basic Organic Chemistry I-E2		Fundamental Physics A	Advanced Japanese (Academic Reading IIIA)
Fri.			Advanced Japanese (Report Writing A)		Advanced Japanese (Academic Reading IA)

1回生 文系(法)

	1 (8:45-10:15)	2 (10:30-12:00)	3 (13:15-14:45)	4 (15:00-16:30)	5 (16:45-18:15)
Mon.				Law and Culture in Japan-E2	
Tue.	法学入門 I*	Japan's Political Economy-E2		English Reading	Advanced Japanese (Conversation)
Wed.		政治学入門 I*	家族と法*	Religion in Contemporary Society-E2	
Thu.	Economy and Society II-E2	Human Geography-E2	Advanced Japanese (Listening)		Advanced Japanese (Academic Reading IIIA)
Fri.		Western History I-E2	Advanced Japanese (Report Writing A)		Advanced Japanese (Academic Reading IA)

*1st year students have the option to take the specialized courses offered in Japanese language if they meet the Advanced level of the Japanese language proficiency.

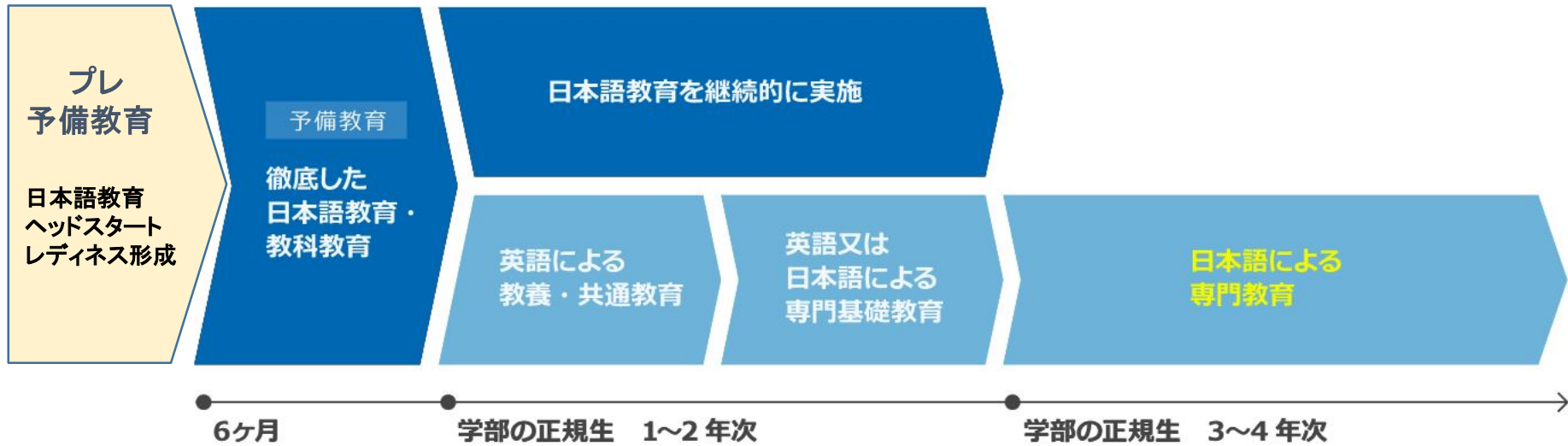
1回生

(自学習的要素を青字に)

- 学部1年目

日本語科目はレベルによるが週2コマ～5コマ受講
教養・共通教育を英語で学ぶ

場合によっては専門基礎科目を一部日本語で学ぶ
※学術共通語彙と、各自の分野の専門語彙の習得



プレ予備教育

■現地日本語
教育機関 +α



オンライン学習
(さみどり等)

ひらがな
かたかな
上級者読解

予備教育

■日本語科目
10コマ
■理系基礎科目
(数学、物理、化学)
9コマ
■文系(学部による)
世界史 2コマ



授業が多いため、
自学習の余地はほぼ
無いが、要習慣づ
け。

1年次

■日本語科目
2コマ~5コマ
■教養・共通教育、
専門基礎を主に
英語で、一部
日本語で学ぶ。



自学習の必要性
が高い。

2年次

■日本語科目
2コマ~5コマ
■教養・共通教育、
専門基礎に日本語
で学ぶクラスが
増える。



自学習の必要性
が益々高まる。
専門分野に密着
した日本語学習。

3、4年次

以降
専門教育
に集中



自学習を
継続。

2回生 理系(工)

	1 (8:45-10:15)	2 (10:30-12:00)	3 (13:15-14:45)	4 (15:00-16:30)	5 (16:45-18:45)
Mon.	有機化学基礎及 び演習		Cultural Anthropology I-E2 	Advanced Japanese (Conversation)	
Tue.		物理化学基礎及 び演習	Mathematical Description of Natural Phenomena	Theories of Justice and Human Rights-E2	
Wed.	工業化学概論 	Intermediate Japanese II (Reading)	Japanese History I-E2	International History 1900 to the Present-E2	
Thu.	化学プロセス工 学基礎			Revisiting Basic Physical Chemistry (thermodyna mics)-E2	
Fri.		基礎無機化学	Advanced Japanese (Report Writing A)		

2回生

(自学習的要素を青字に)

・学部2年目

日本語科目はレベルによるが2コマ～5コマ

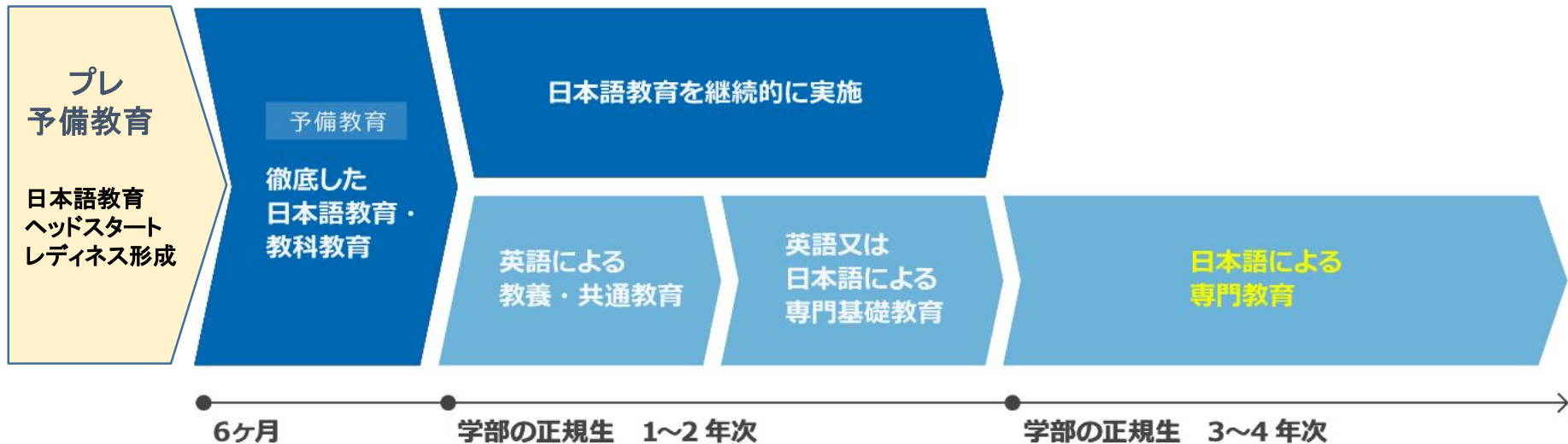
教養・共通教育を英語で学ぶ

場合によっては専門基礎科目を日本語で学ぶクラスが増えていく

※引き続き、学術共通語彙と、各自の分野の専門語彙の習得

※専門分野に密着した日本語学習・・・

専門講義を理解するために、各自が必要な日本語技能を見つけ、
習得



プレ予備教育

■現地日本語
教育機関 +α



オンライン学習
(さみどり等)

ひらがな
かたかな
上級者読解

予備教育

■日本語科目
10コマ
■理系基礎科目
(数学、物理、化学)
9コマ
■文系(学部による)
世界史 2コマ



授業が多いため、
自学習の余地はほぼ
無いが、要習慣づけ。

1年次

■日本語科目
2コマ~5コマ
■教養・共通教
育、専門基礎を主
に英語で、一部
日本語で学ぶ。



自学習の必要性
が高い。

2年次

■日本語科目
2コマ~5コマ
■教養・共通教育、
専門基礎に日本語
で学ぶクラスが
増える。



自学習の必要性
が益々高まる。
専門分野に密着
した日本語学習。

3、4年次

以降
専門教育
に集中



自学習を
継続。

1-2 自学習の方法

Q21：これから日本語を勉強する人におすすめの勉強法、アプリ、WebサイトやSNSなどがあれば書いてください。

3-2 学生からのおすすめ

YouTube

- ・ 日本語の森 6
- ・ Onomappu 2
- ・ Try it
- ・ Japanese Ammo with Misa
- ・ Learn Japanese with
JapanesePod101
- ・ Miku Real Japanese
- ・ Sambon Juku
- ・ 日本語の歌の意味解説channel

Web Site

- ・ jlptsensei 4
- ・ WaniKani 2
- ・ まるごと
- ・ 東京外国語大学言語モジュール
- ・ tsukubawebcorpus
- ・ All Japanese All The Time
- ・ NHK world-JAPAN
- ・ kokugobunpou
- ・ Jisho
- ・ AnkiWeb
- ・ Maggie Sensei website

その他

- ・ アニメ 7
- ・ 日本人と話す
- ・ 交流などに参加する
- ・ 好きなことを通して学ぶ
- ・ ラジオ
- ・ カラオケ

**JASSO大阪実施
再掲載**

アプリ

- ・ Anki 8
- ・ Todai 4
- ・ Easy Japanese 4
- ・ duolingo 7
- ・ Shirabe jisyo 6
- ・ MigiiJLPT 5
- ・ Kanji study 4
- ・ Hellotalk 3
- ・ imiwa 2
- ・ Japanese Kanji Tree
(Android) 2
- ・ Takoboto (Android) 2

- ・ Yomiwa (辞書アプリ)
- ・ OJAD
(online日本語アクセント辞書)
- ・ Learn Japanese
- ・ Hiragana Memory Hint
- ・ Katakana Memory Hint
- ・ Kanji Memory Hint
- ・ Kanji Lookup

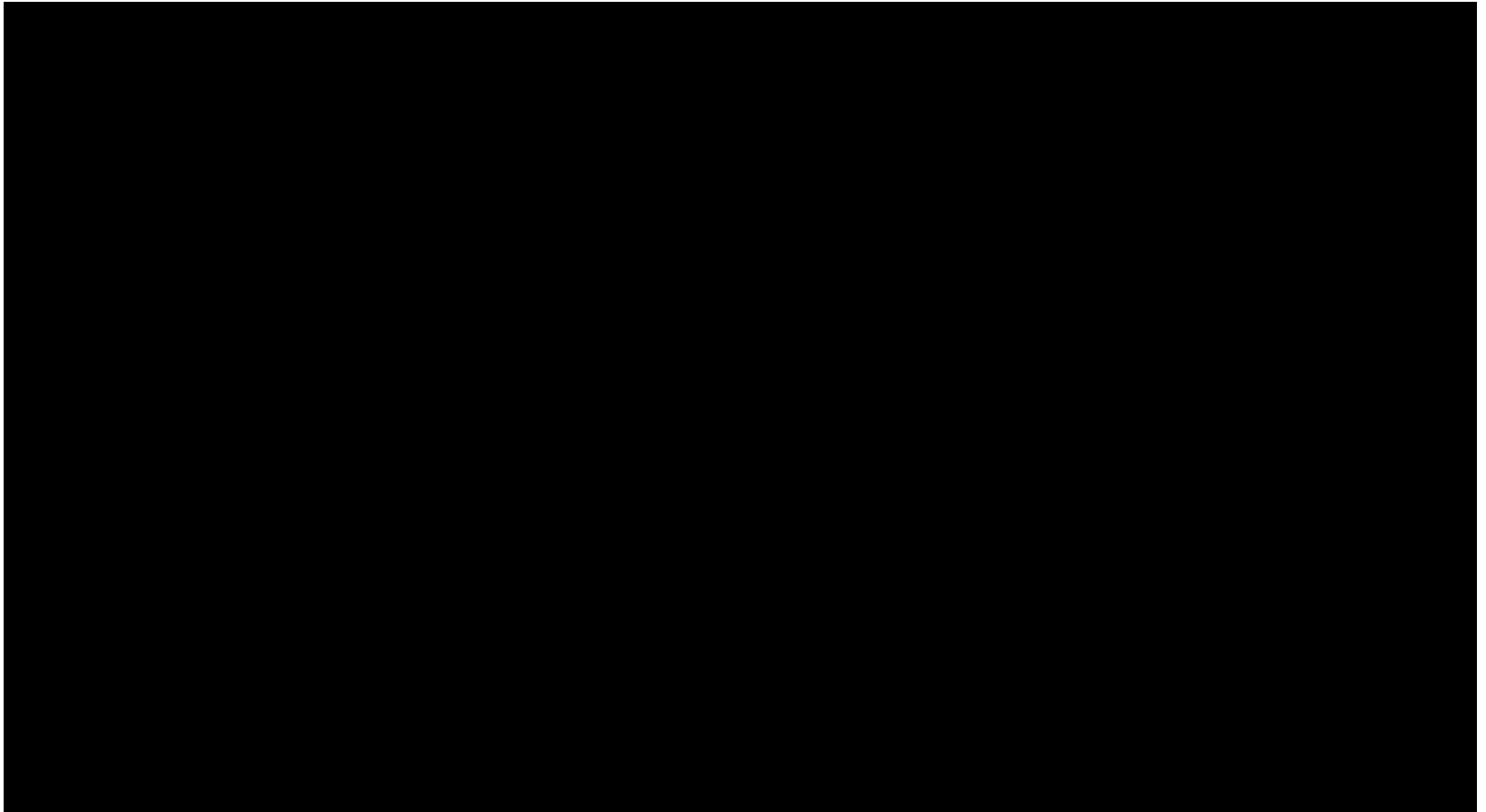
- ・ NIHONGOeな (Android)
- ・ Japanese Kanji Study
(Android)
- ・ saigaku (アラビア語-日本語)
- ・ Share2u168
(カンボジアの人向け)

**JASSO大阪実施
再掲載**

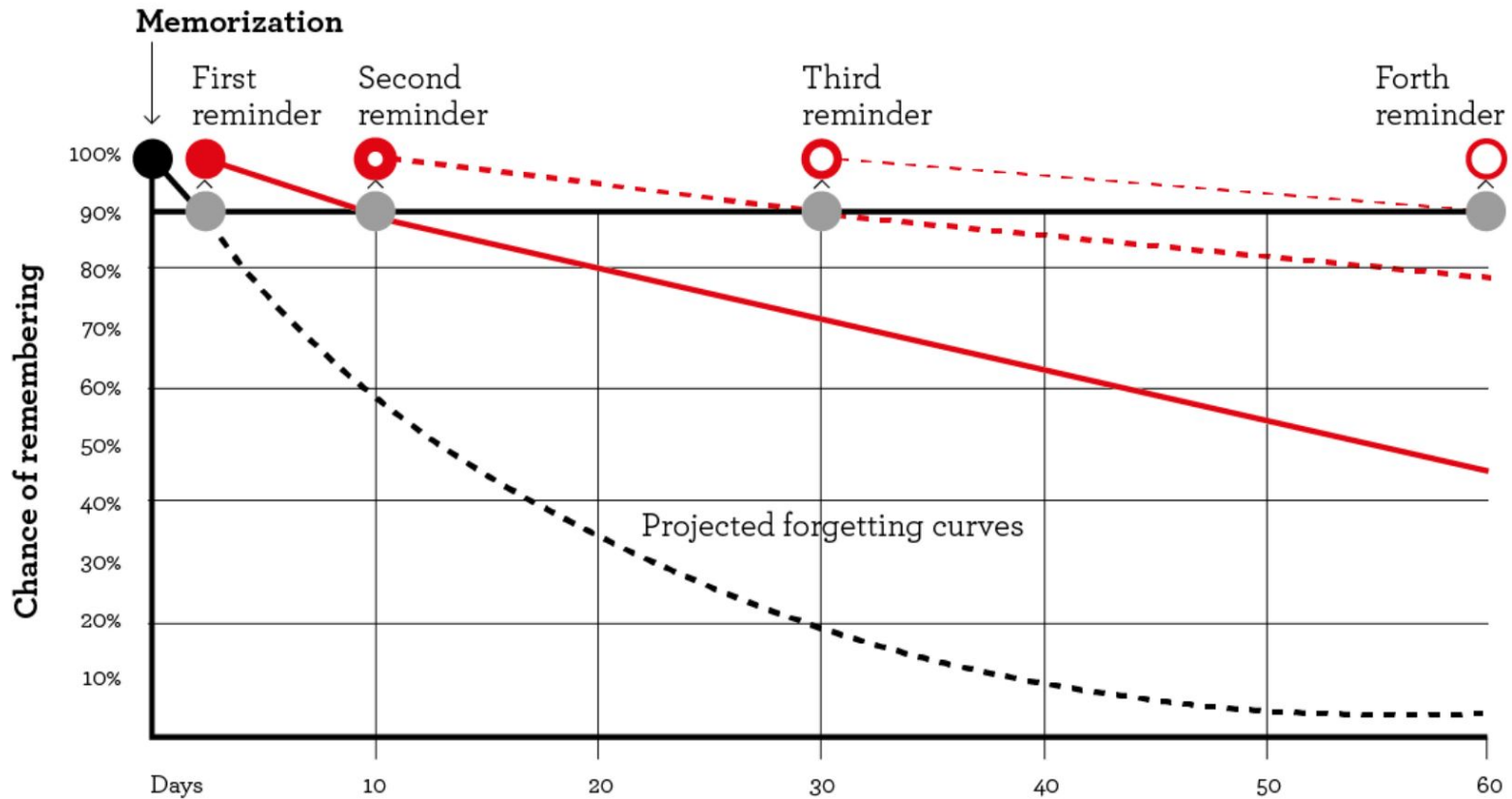
1-2 自学習の方法

学生によるデモンストレーション (その①)

- ANKI (教育学部2回生、ミャンマー)



ANKI＝間隔反復を応用したアプリによる学習法

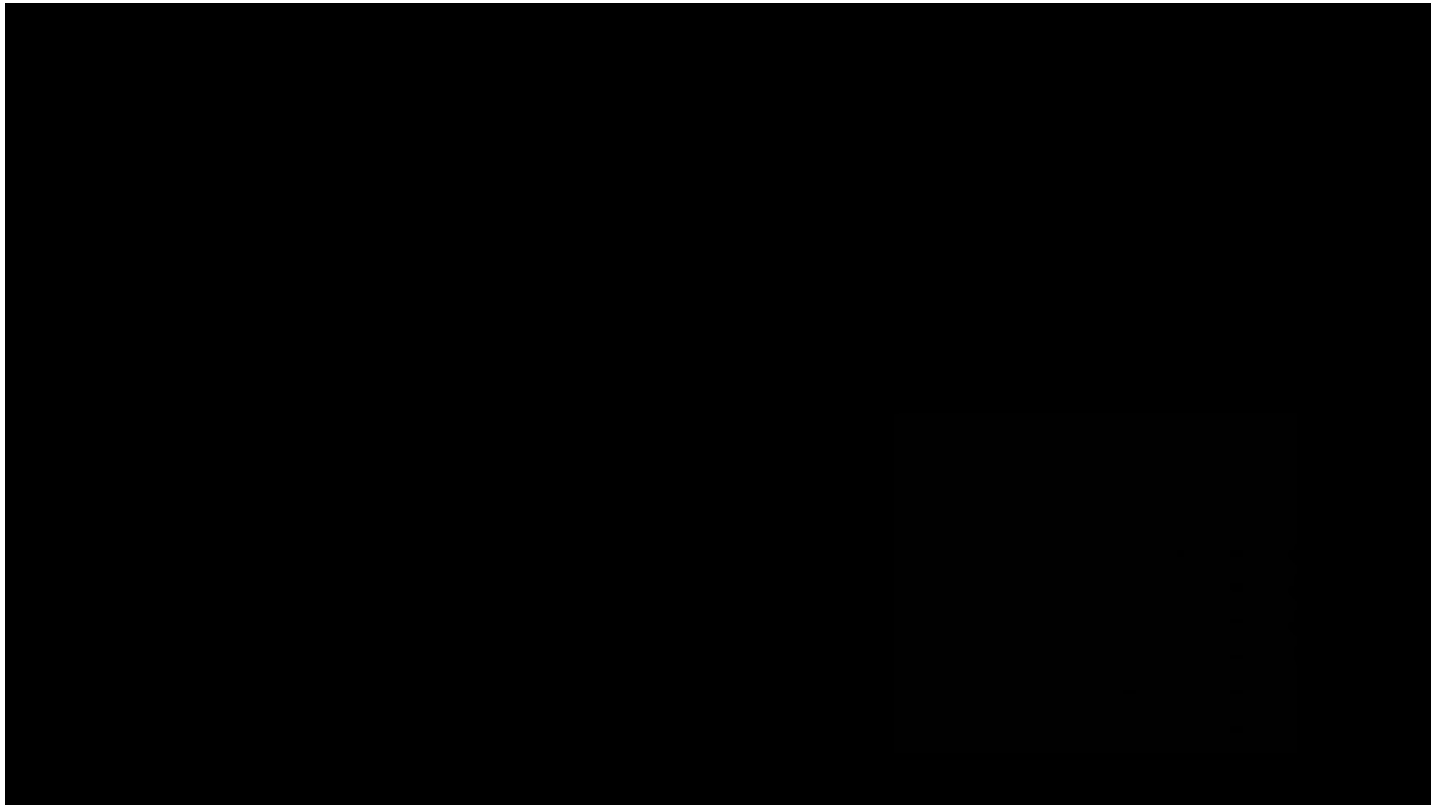


・The author unknown, 2023 Farnam Street Media Inc., <https://fs.blog/2018/12/spacing-effect/>
(ヘルマン・エビングハウス著；宇津木保記；望月衛関, 1978 (H. Ebbinghaus (1885)の翻訳)を元にしたBlog記事)

1-2 自学習の方法

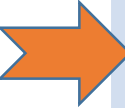
学生によるデモンストレーション(その②)

- ・スズキケン (工学部・工業化学科2回生、フィリピン)



1-3 自学習支援

教授者・支援提供者の取り組み

内容	教授者・学習支援者の役割
 (1) オンライン自習サイト(さみどり)の上級読解教材充実	自学習 <u>ツール</u> の整備と充実
(2) 理系接辞とそれを含む語彙リストの提示	自学習 <u>内容</u> の整備と提示
(3) 理系専門基礎科目で用いられる学術共通語彙・専門語彙の抽出と提示	自学習 <u>内容</u> の整備と提示
(4) 専門語彙の導入と学習方法の提示	自学習 <u>方法</u> の提案

(1) オンライン自習サイト(さみどり) 上級読解教材の充実

- https://www.samidori.k.kyoto-u.ac.jp/study/exam_set?id=22

プレ予備教育で利用予定

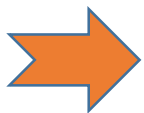


The screenshot shows the homepage of the 'samidori' website. At the top, there is a banner image of a traditional Japanese garden with a gravel path and rocks. Below the banner is a green navigation bar with the 'samidori' logo and the text 'Kyoto University Institute for Liberal Arts and Sciences Education Center for Japanese Language and Culture Japanese Learning System'. To the right of the logo is a 'Language' dropdown menu with options for Japanese, English, Chinese, and Korean. Below the navigation bar is a horizontal menu with four items: 'Home', '当サイトについて', 'プライバシー・ポリシー', and '当サイトに関するアンケート'. Below this menu is a breadcrumb trail: 'Home > レベル選択 > 上級'. A large green bar highlights the '上級' (Advanced) level. Below this bar, the word '読解' (Reading Comprehension) is displayed, and a dark green button labeled 'このスキルを選択' (Select this skill) is positioned to its right.

1-3 自学習支援

教授者・支援提供者の取り組み

内容	教授者・学習支援者の役割
(1) オンライン自習サイト(さみどり)の上級読解教材充実	自学習 <u>ツール</u> の整備と充実
(2) 理系接辞とそれを含む語彙リストの提示	自学習 <u>内容</u> の整備と提示
(3) 理系専門基礎科目で用いられる学術共通語彙・専門語彙の抽出と提示	自学習 <u>内容</u> の整備と提示
(4) 専門語彙の導入と学習方法の提示	自学習 <u>方法</u> の提案



(2) 理系接辞語彙リストの作成・提示

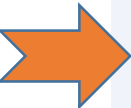
高等学校教科書の数学(数I, A, II, B, III), 物理(含む物理基礎), 化学(含む化学基礎), 生物(含む生物基礎)の教科書(いずれも数研出版)にある索引に収録されている語を対象に, 以下の言葉83を析出。
これらが含まれる語を集め、抽出、リスト化。

非公開内部資料

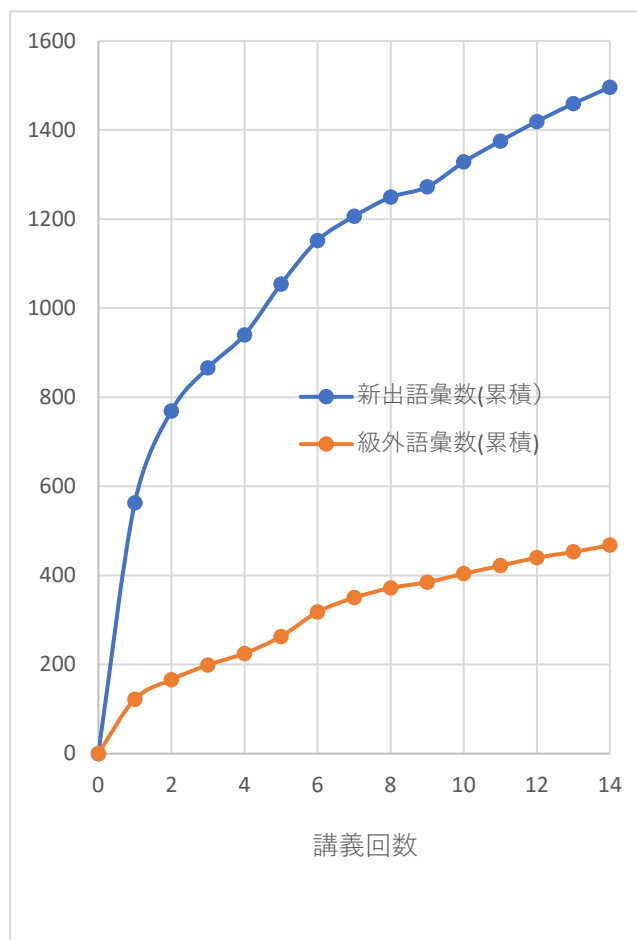
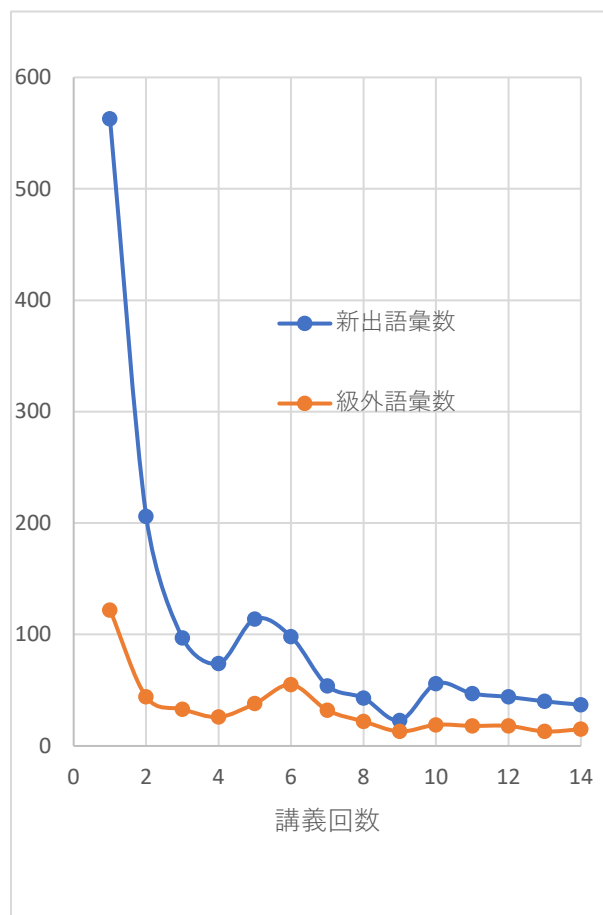
非公開内部資料

1-3 自学習支援

教授者・支援提供者の取り組み

内容	教授者・学習支援者の役割
(1) オンライン自習サイト(さみどり)の上級読解教材充実	自学習 <u>ツール</u> の整備と充実
(2) 理系接辞とそれを含む語彙リストの提示	自学習 <u>内容</u> の整備と提示
 (3) 理系専門基礎科目で用いられる学術共通語彙・専門語彙の抽出と提示	自学習 <u>内容</u> の整備と提示
(4) 専門語彙の導入と学習方法の提示	自学習 <u>方法</u> の提案

(3) 理系専門基礎科目で用いられる学術共通語彙・専門語彙の抽出と提示



- 工学部の講義を「自動音声認識・翻訳字幕システム」でテキスト化した資料から使用語彙を抽出
- 14週の講義の内、最初の2回の講義で、全体の半数の語彙が出現している。

長谷部伸治, 京都大学iUP専門日本語WG(20220721)資料

阿久澤他(2023)「講義動画字幕システムから見る専門科目における語彙の使用実態」

事前語彙学習用教材 学生の理解度例

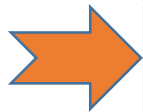
第2回				A: 読むことができる	B: 見て意味がわかる	C: 読みを見て、漢字で書くことができる	D: 発音を聞いて、その言葉をイメージできる
A	B	C	D	メモ		読み	
N5レベル (2語)							
		✓		言葉			コトバ
		✓		名前			ナマエ
N4レベル (11語)							
		✓		関係			カンケイ
		✓		関係式			カンケイシキ
		✓		気持ち			キモチ
		✓		興味			キョウミ
		✓		講義室			コウギシツ
		✓		答え			コタエ
		✓		習慣			シュウカン
		✓		説明			セツメイ
		✓		先輩			センバイ
		✓		注意			チュウイ
		✓		用意			ヨウイ
N2, N3レベル (33語)							
		✓		一致			イチチ
		✓		一定			イチテイ
		✓		解答			カイトウ
		✓		回答			カイトウ
			✓	過程			カテイ
			✓	記号			キゴウ
			✓	奇数			キスウ
			✓	議論			ギロン
				偶数			ゲウスウ
				形式			ケイシキ
				構成			コウセイ
			✓	交流会			コウリュウカイ
			✓	国際標準			コクサイヒョウジュン
			✓	実現			ジツゲン
			✓	指定			シテイ
			✓	終了			シュウリョウ
			✓	種類			シュルイ
			✓	順番			ジュンバン
			✓	状況			ジョウキョウ
			✓	接続			セツソク
			✓	全員			ゼンイン
			✓	抵抗			テイコウ
			✓	電力			デンリョク
✓				納得			ナットク
	✓			発想			ハッソウ
			✓	複数			フクスウ
✓				文献			ブンケン
			✓	無限大			ムゲンダイ

長谷部伸治, iUP専門日本語WG
(20221111)資料

1-3 自学習支援

教授者・支援提供者の取り組み

内容	教授者・学習支援者の役割
(1) オンライン自習サイト(さみどり)の上級読解教材充実	自学習 <u>ツール</u> の整備と充実
(2) 理系接辞とそれを含む語彙リストの提示	自学習 <u>内容</u> の整備と提示
(3) 理系専門基礎科目で用いられる学術共通語彙・ 専門語彙の抽出と提示	
(4) 専門語彙の導入と学習方法の提示	自学習 <u>方法</u> の提案



(4) 予備教育での専門語彙の導入と学習方法の提示

- ・「言選Web」(<http://gensen.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gensenweb.html>)を用いて、学生が自主的に専門用語を抽出し、自学習環境を学生に示し、利用を促す。

	iUP 生	チューター	教員
文字資料のテキストファイルもしくはPDFを準備する(①)	●	○	○
「言選Web」で下記②を行う	●		○
未知語を探し、整理する	●		
専門語を探し、整理する	●	○	
チューターセッションで語句の確認をする(意味、例文)	●	○	

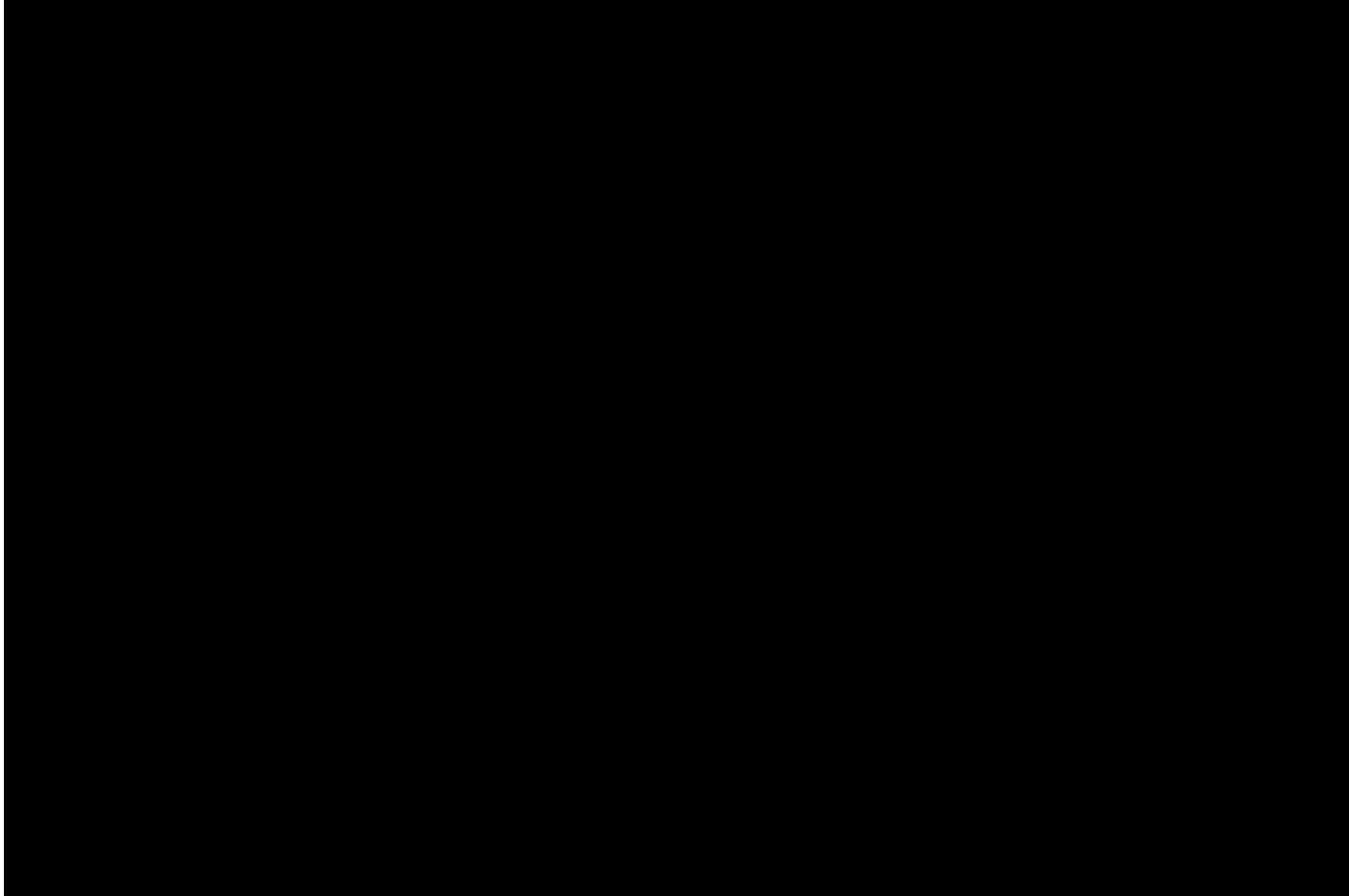
●: 主として行う ○: サポート

- ① 次のいずれかで専門用語(キーワード)を切り出すデータを指定。
 - (ア) Web上のhtml化された文章もしくはPDFをURLで指定
 - (イ) 文章を直接入力するか貼り付ける
 - (ウ) Windows上のテキストファイル、もしくはPDFを指定
- ② 入力ボックス下のチェックボックスから和文、英文を選択し、専門用語(キーワード)抽出ボタンをクリックする。(専門用語(キーワード)が重要度の高い順に表示される)。

(4) 予備教育での専門語彙の導入と学習方法の提示

- ・「言選Web」(<http://gensen.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gensenweb.html>)

自主的に専門用語を抽出し、自習できる環境を学生に示し、利用を促す。



1-3 自学習支援

教授者・支援提供者の取り組み

内容	教授者・学習支援者の役割
(1) オンライン自習サイト(さみどり)の上級読解教材充実	自学習 <u>ツール</u> の整備と充実
(2) 理系接辞とそれを含む語彙リストの提示	自学習 <u>内容</u> の整備と提示
(3) 理系専門基礎科目で用いられる学術共通語彙・ 専門語彙の抽出と提示	
(4) 専門語彙の導入と学習方法の提示	自学習 <u>方法</u> の提案

目次

- ▶ はじめに
- ▶ 1. 日本語「自学習」の現状
 - 1-0 事例の概要—Kyoto iUPについて
 - 1-1 自学習の必要性
 - 1-2 自学習の方法 学生によるデモンストレーション
 - 1-3 自学習支援 教授者・支援提供者の取り組み
 - (1) ツールの整備
 - (2) 自学習内容の整備
 - (3) 自学習方法の提示
- ▶ 2. 課題と展望
 - 2-1 出席者の皆様の質問から
 - 2-2 留学生の学習環境整備における日本語教師の位置

2. 課題と展望

2-1 出席者の皆様の質問から

- ・モチベーションの維持

- 効率的学びを促す自学習内容の提示

- 専門科目が忙しいため、日本語に特化した自学習時間がないことも理解。

- 科目密着型の日本語自学習を促進、支援。

- 成果発表の機会

- 内発的動機の喚起(専門の内容が面白い、興味深い)

- 専門科目の指導教員との連携

- ・モチベーションの低い学生にどう対応するか

- 日本語教育だけではなく、専門教育、生活支援に関わる問題。

(つづき)

- ・ 教員の負担を増やさない自学習の在り方
 - チューターの活用、先輩学生の活用、学生の互助を促す
 - ツールの活用

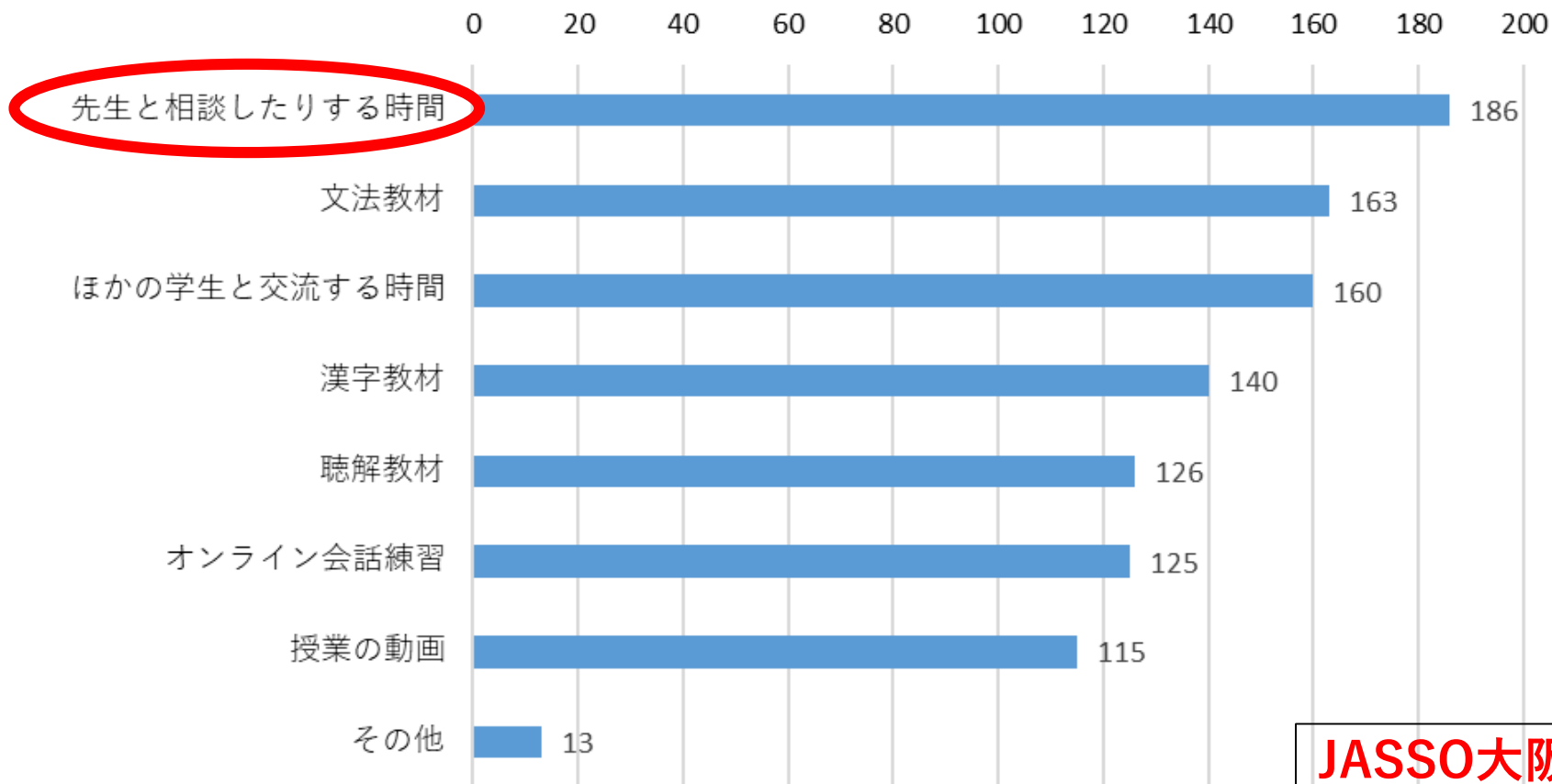
2. 課題と展望

2-2 留学生の学習環境整備における 日本語教師の位置

2. 課題と展望

2-2 留学生の学習環境整備における日本語教師の位置

3-1 来日前に進学先の学校からもらえるものとして、
あったら勉強に役立つと思うものは何ですか。（複数回答）



2. 課題と展望

2-2 留学生の学習環境整備における 日本語教師の位置

- ・ 日本語教師の多様な立場

- 日本語の教授者

- 学習支援者

- 日本語学習者をめぐる「布置」の一員としての日本語教師

布置の最適化

その学生を一人の構成要員とする、対人関係的、状況的、地域的、社会的な関連からなる布置を、とりあえず、最も望ましいと思われる状態にもってゆくこと

(大東2008)

友達と

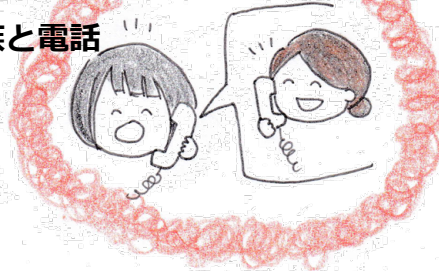


指導教員と相談



日本語の先生に
質問してみようかなあ

家族と電話



相談室に行ってみる



指導教員



日本語教師

相談員

学生が悩みを抱えているとき、孤立しているときは、
布置のバランスが崩れていることが多い。

指導教員



相談員

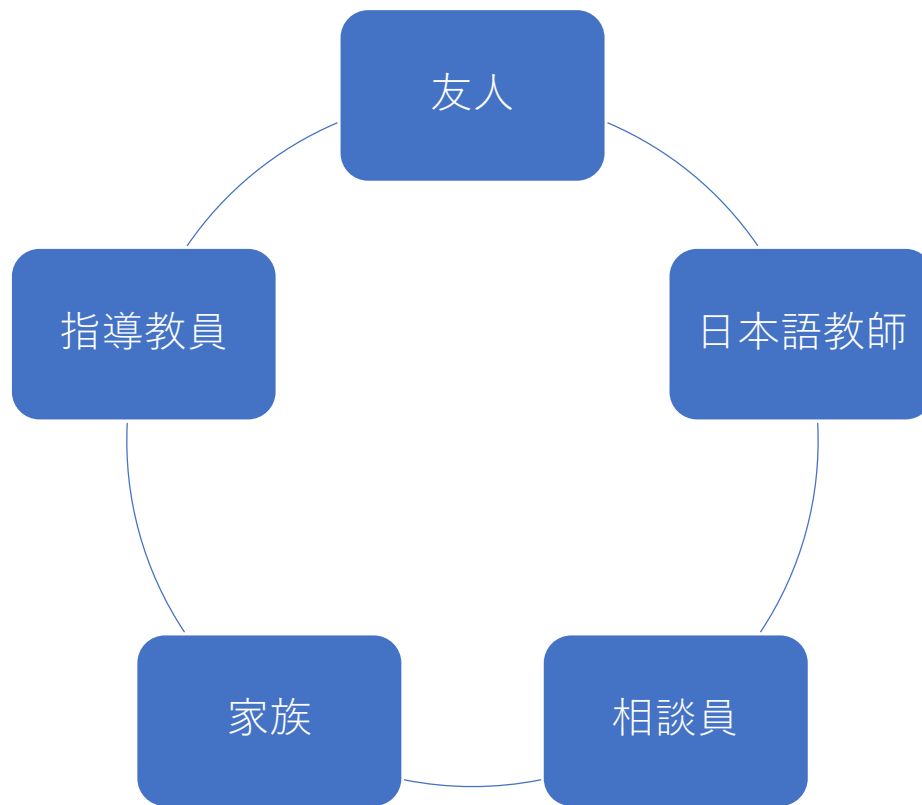
日本語教師

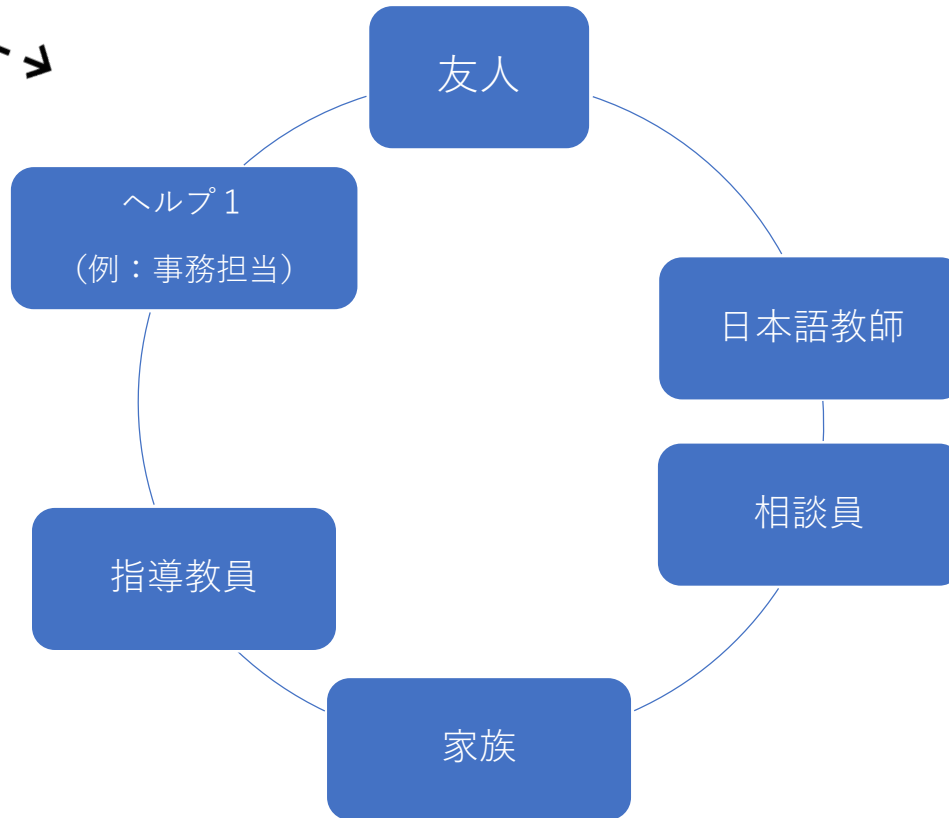
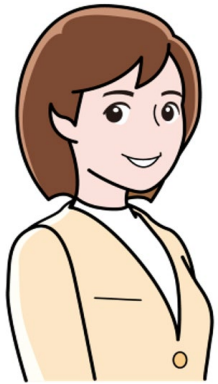
指導教員

日本語教師

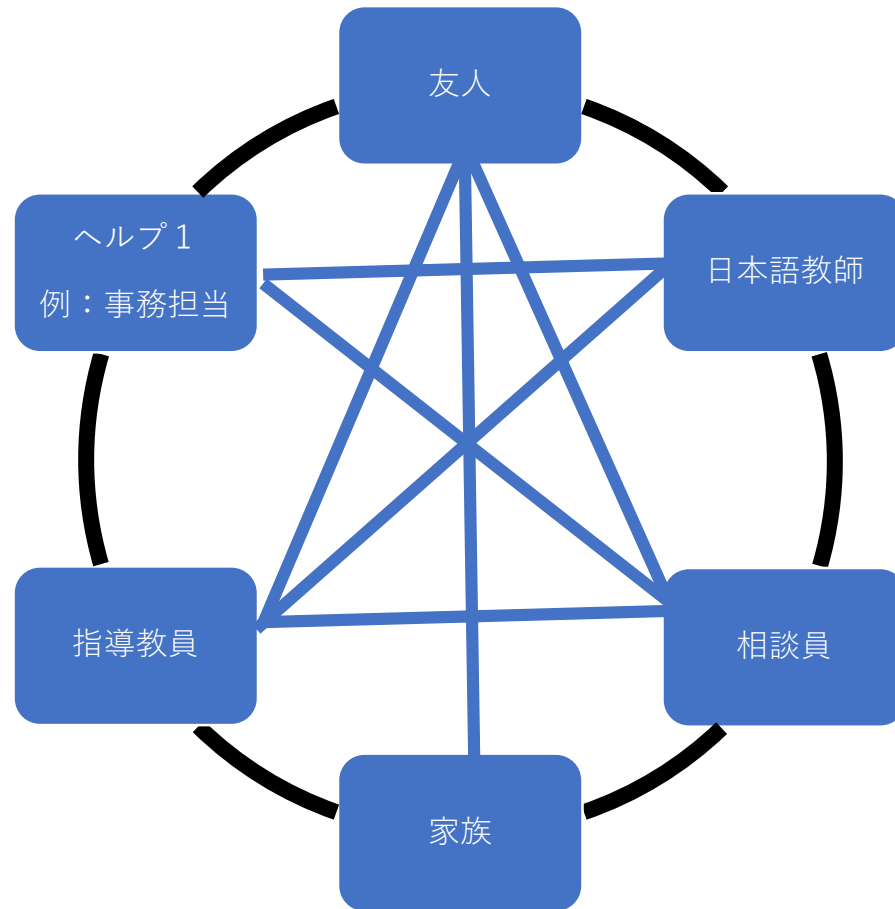
相談員





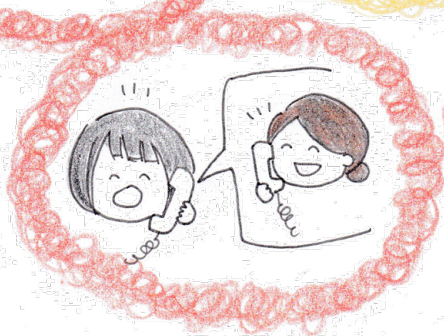


本来は全体のバランスに目配りする人が必要



- ・全体に目配りする人の配置ができない場合は、各人がそのことを認識した上で、より連携を強めて対応。
- ・各人が、それぞれの強みと限界を自覚して対応。

クラスでの様子
出欠状況
課題の提出状況
自学習情報
等々



・日本語教師の立場

○ 日本語の教授者

○ 学習支援者

○ 日本語学習者をめぐる「布置」の一員としての日本語教師

日本語教師は・・・

- ・留学生の問題に気づきやすい立場にいる。
- ・留学生を支えるチームの一員になる、あるいは最初の窓口になる可能性が大きい存在。
- ・負担を一身にかぶるのではなく、サポートチーム作りに動く感覚が重要。

自学習の状況は、学生の心身の状態を映す鏡ともなる。

参考文献

- ・阿久澤弘陽、岡田幸典、河合淳子、佐々木幸喜、河内彩香、長谷部伸治(2023)「講義動画字幕システムから見る専門科目における語彙の使用実態」日本語教育支援システム研究会(CASTELJ)第10回国際研究集会(2023年8月10日、11日)予稿集pp.191-194
- ・大東祥孝(2008)「3. 危機的事例とその対応」大橋敏子編著『外国人留学生のメンタルヘルスのための危機介入ガイドライン』, 2006年度JAFSA調査・研究報告書, p18-25
- ・河合淳子(2022)「『布置の最適化』に関する一考察」『ことばと社会』24号、177－190頁
- ・京都大学吉田カレッジオフィス iUP専門日本語ワーキンググループ(WG) 非公開内部資料
 - 岡田幸典, 京都大学iUP専門日本語WG(20220616)
 - 佐々木幸喜, 京都大学iUP専門日本語WG(20230203)
 - 長谷部伸治, 京都大学iUP専門日本語WG(20220721)
- ・ヘルマン・エビングハウス著 ; 宇津木保訳 ; 望月衛閲, 1978
「記憶について : 実験心理学への貢献」誠信書房 (H. Ebbinghaus (1885), Memory : a contribution to experimental psychology. の翻訳)
- ・The author unknown, 2023 Farnam Street Media Inc., The Spacing Effect: How to Improve Learning and Maximize Retention, <https://fs.blog/2018/12/spacing-effect/>
(最終閲覧2023/02/25)

- ・ 本発表内の動画で使用されたアプリやウェブサイト

ANKI, Anki - powerful, intelligent flashcards (ankiweb.net)

<https://apps.ankiweb.net/> (最終閲覧20230317)

OJAD_韻律読み上げチュータ スズキクン (u-tokyo.ac.jp)

<https://www.gavo.t.u-tokyo.ac.jp/ojad/phrasing>

開発：東京大学大学院 工学系研究科 峯松研究室 / 情報理工学系
研究科 廣瀬研究室 (最終閲覧20230317)

専門用語(キーワード)自動抽出サービス一言選Web

<http://gensen.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gensenweb.html>

開発：東京大学情報基盤センター図書館電子化部門中川裕志、横浜国立大学環境情報研究院森辰則。現システムは、中川裕志、東京大学経済学部図書館前田朗、東京大学経済学部資料室助手小島浩之で改良。(最終閲覧20230317)